



長野県立こども病院 在宅医療ケアマニュアル  
在宅中心静脈栄養法（HPN） 輸液チューブの満たし方

空気が入らないように、生食 50ml を使ってルート内を満たした後に薬剤を満たします

①手洗いし、準備をする場所とトレイをアルコール綿などでふいて清潔にします。  
その後、再び手を洗いましょう

②必要物品をトレイの上に準備します

●カフティルート ●セイフCカニューラ ●アルコール綿 ●生理食塩水 50ml



●TPN バッグ

●ゴミ袋

※それぞれ容器が破れていないか確認してください

③ルートを袋から取り出します

この時ルートに破損等ないか確認しましょう。



④クレンメを閉じます

⑤ルートの先端にセイフCカニューラを装着します



この時接続部分に直接手が触れないように注意します！

⑥生食のゴム栓部分をアルコール綿で拭きます



★清潔な拭き方★

アルコール綿で…

- ①まずは 10 回ゴシゴシ拭く
- ②新しいアルコール綿で一方向に  
往復させずに違う面で 2 回以上ふく

その後、ルート先端の針の部分のキャップを外し垂直に刺します



⑦滴下筒をゆっくり押し、中を薬液で満たします

押すときにはルートを  
曲げてルートに液が  
入らないようにします



ココの線まで  
液を満たす

⑧ゆっくりクレンメをあげ、ルートを液で満たしていきます

※ポイント

- フィルターは上向きにして空気が抜けるように満たしましょう
- 側管部分に空気がたまりやすいため向きを注意しましょう  
側管部分の近くまで液がきたらいったんクレンメを止めて空気を抜いてから再度流すとやりやすいです



側管  
(下向きに！)



側管部分に空気がたまりやすいので、一度クレンメを止めてから手ではじいて空気を上に抜きます。(※ルートの向きはそのまま！)

⑨先端まで生食を満たし終わったら、ルート内に空気が残っていないか確認します

⑩生食でルートが満たし終わったら、ルート先端の針部分を垂直に抜き、TPN 輸液バッグにつけかえます。さし方は⑥の手順と同様です。

※付け替える前には必ず TPN 輸液バッグのゴム栓部分を清潔なアルコール綿で拭きましょう

## 接続の方法

①手を洗い、台とトレイを消毒し、再度手を洗ってからトレイに必要な物品を準備します

- 生食シリンジ ●セイフCカニューラ ●アルコール綿 ●カフティポンプ



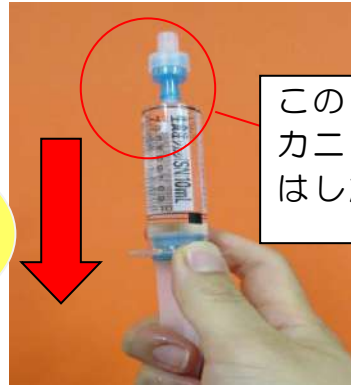
②シリンジにセイフCカニューラを装着します



この時接続部分に直接手が触れないように注意します！

③生食シリンジの空気抜きをします  
※そのまま使ってしまうと、空気が身体の中に入ってしまう

一度、内筒を下に引いてから、上に押し上げてセイフCカニューラの先端まで液を満たします



このとき、セイフCカニューラのキャップはしたまま行います

④ポンプに電池を入れ、電源がついたことを確認してから、ルートを設定します  
★カフティポンプの使い方は、『在宅中心静脈栄養法 ご利用の手引き』に詳しく載っています

⑤点滴の速度を設定し、開始ボタンを押すと送液が開始されるので、クレンメを外し、キャップをしたままルートの先端まで液を満たします  
※満たしたあと、送液を停止し、ルートの先端が手など触れて不潔にならないように工夫してください。



⑥手洗いをし、接続部をアルコール綿できれいに拭きます。

拭き方は1ページ目  
★清潔な拭き方★ の拭き方と同じです！

⑦セイフCカニューラのキャップをとり、接続部にセットします。  
※このときセイフCカニューラがシリンジから外れないように注意しましょう  
外れると不潔になってしまいます。

⑧シリンジの押し子を押し、生食を注入します  
※この時、ルートにつまりがいいのか確認してください。

## ⇒つまっていたら？

- クレンメがしっかり開いているか
  - シリンジと接続部がしっかりはまっているか
  - ルートが折れまがっていないか
- この3つを確認しましょう

**拭き方は1ページ目  
★清潔な拭き方★の  
拭き方と同じです！**

⑨シリンジをはずします。

⑩もう一度、接続部をアルコール綿で清潔に拭きます。

⑪ルートの先端を接続します。お子さん側のクレンメを開きます。

★キャップを取る時に直接先端に手が触れないように注意して下さい！★

- ⑫●クレンメがあいていること  
●流速が設定されていること  
⇒確認してから送液を開始します

※「閉塞」アラームが頻回に鳴ったりする場合は、カテーテル自体のつまりがある可能性があります。  
その場合はロックして確認します。

## ルートの外しかた（日中ロックしている方）

①接続の仕方の①～③と手順は一緒です。

ただし、外すときはヘパリンロックシリンジを使います

ヘパリンロックシリンジ



②ポンプの送液を停止し、お子さん側のクレンメを閉じてから、接続部からルートを外します

③接続部をアルコール綿で拭き、ヘパリンロックシリンジを接続し、クレンメを開けてヘパリンを注入します。このとき、ヘパリンを注入しながらクレンメを閉じて下さい。



お子さん側のプラグとC-カニューラの凸凹が  
かみ合うようにしっかりとはめましょう！

※この時カテーテルのつまりがないか確認してください。（確認方法は⑧を参照）

④接続を外し、プラグの部分をガーゼで保護します。

⇒ガーゼは汚れた時に適宜交換して下さい。

⑤カフティポンプからルートを外します（『在宅中心静脈栄養法 ご利用の手引き』参照）

⑥ポンプから電池をはずし、電源を落とします。（使用していないとき電池は必ず充電）